

実施日：令和3年7月30日（金）

平成29年9月2日初めて訪ねた「八代仙の霊水」を7月30日に会員6人で再訪しました。

八代仙は、氷見市角間に位置して、日本最古の岩石 飛騨片麻岩のある地です。そこから流れ出ている「八代仙の霊水」は、岐阜県の奥飛騨原水（タンナカの水）と同じ飛騨片麻岩の地層をくぐりぬけた水です。今は亡き干場建設 会長干場隆光氏が、タンナカの水の出ている地質によく似た石動山断層の破砕帯を狙い掘削を進め、苦難の末4度目の掘削でようやく水が出たとお話されました。その水の分析結果は、飲用基準に適合しており、特に炭酸水素イオンとカルシウムイオンが多くまろやかで飲みやすい水です。

この水を飲んだ人々から「おいしい水だ。体調がよくなった。」などと喜びの声が多く聞かれるそうです。

「石動山と八代仙、そして礒部神社の神様が与えてくださった正に奇跡の水です。」と当時の干場隆光さんが言っておられました。

以前より環境もよくなった今、当時を思い出しながらゆっくり飲用いたしました。冷たくて美味しい水（水温12.1℃）でした。

この水の水質は、硬度93.9・pH7.9です。

（岡岸喜義 記）



平成29年（2017年）9月撮影



平成29年、礒部神社の境内で会員の干場隆光さんから「八代仙の霊水」の説明をいただき、霊水まで案内していただいた。



8月1日は「水の日」

8月1日～7日は「水の週間」

平成26年に制定された水循環基本法において、国民の間に水資源の有限性、水の貴重さ及び水資源開発の重要性について理解と関心を深める日として位置づけられた。

コラム

体を守る水分補給

理事長 青木 正樹

一般的に人の水分の一日の出納は約2.5リットルです。尿で1500ml、呼気・皮膚より900ml、便100ml。夏場は汗をかくため、意識して水分を取る必要があります。ただ、水分補給として普通の水を大量に取ってしまうと、かえって体の中の電解質バランスを崩して体調不良を引き起こします。飲む水は、1日1.5リットル（味噌汁など食事からとる水分も含む）を目安にかいた汗の量で加減して摂取し、汗で失われた塩分も取りましょう。水だけを大量に飲むと血液の塩分濃度が薄まり、これ以上濃度を下げないように、体が水分を欲しがらなくなってしまいます。同時に余分な水分を尿として排出し、自発的脱水症となり熱中症の原因になります。熱中症予防の水分補給として、市販の補給水などもいいのですが、自分で作る時は、1リットルの水にティースプーン1杯の食塩と好みに応じて角砂糖を加えて補給水を作ってくださいね。糖分は腸管における水分吸収を促進しますよ。